

# 当会推薦の3名が受賞

## 国交省、建設マスター顕彰式を開催

20年以上にわたり建設現場の第一線で活躍する優秀な技能者・技術者を顕彰する平成26年度の「優秀施工者（建設マスター）国土交通大臣顕彰式典」が10月10日午後、東京都港区のメルパルクホールで開催された。

平成26年度は、当会推薦による受賞者3名を含めて、新たに389名の建設マスターが誕生した。当日の顕彰式典では、国土交通大臣より、受賞者に対して「建設マスター」の称号が授与されるとともに、記念の「建設マスターバッジ（純銀製）」と「顕彰状」が贈られた。

顕彰式典では、冒頭、主催者代表である太田昭宏（おおた・あきひろ）国土交通大臣の挨拶として、大塚高司（おおつか・たかし）国土交通大臣政務官

が、大臣から預かった挨拶文を代読した。

挨拶文の中で「皆様はものづくりに直接携わる方々の中で最も優れた技能・技術を有する方々として晴れて建設マスターに選ばれました。これからの建設業の発展のために寄与されるよう希望します」と述べた。

また、藤澤好一（ふじさわ・こういち）優秀施工者国土交通大臣顕彰審査委員長が講評を交えて挨拶を行った。

続いて、優秀施工者国土交通大臣顕彰の授与が行われた。司会を務める国土交通省職員が、晴れて建設マスターとなった受賞者一人ひとりの名前を、南の沖縄県から北の北海道へと順に読み上げていった。名前を呼ばれた建設マスターが「はい」と元気



当会推薦による受賞者3名



主催者の国土交通省の関係者



建設マスター顕彰式典



建設マスター顕彰の審査委員会委員

よく応える声が次々と館内に響き渡った。

その後、受賞者のお子さん等からの作文紹介が行われた。「ぼく・わたしから見たお父さん・お母さんの仕事」というテーマで、受賞者のお子さん等か

ら寄せられた作文26編が紹介され、そのうち、数編が司会者により朗読された。

当会推薦による受賞者3名と、作文は次のとおり。

### 久保田 雅章（くぼた・まさあき）氏

52歳、男性、静岡県静岡市駿河区。機械器具設置工。株式会社第一テクノ、静岡県静岡市葵区。

### 加島 弘康（かしま・ひろやす）氏

43歳、男性、愛知県北名古屋市。機械器具設置工。加島工業株式会社、愛知県春日井市。

### 井上 智洋（いのうえ・としひろ）氏

46歳、男性、兵庫県姫路市。電気工。西芝電機株式会社、兵庫県姫路市網干区。



内発協を表敬訪問した受賞者一行と事務局



式典を終え、晴れて建設マスターとなった受賞者たち



優秀施工者国土交通大臣顕彰  
平成26年10月10日

久保田 雅章氏と令夫人

題 名	僕のお父さん
氏 名	久保田 一陽（くぼた・かずはる）
<p>僕の父の仕事は、ポンプや発電機などを取り付ける仕事の現場監督です。毎年、秋から次の年の三月の終わり頃までとても忙しくなります。土曜日の休日も仕事だし、夜も遅くまで残業で、僕が寝てから帰って来るので、夕飯も一緒に食べられない日が殆どで、ちょっと淋しいです。でも、仕事が落ち着いてくると父は、ドライブや美味しい物を食べに連れて行ってくれるのでうれしいです。</p> <p>今は少なくなりましたが、僕がまだ小さい時に、台風や大雨や雷の影響で、ポンプの故障などで、緊急呼び出しされる事があって、それが休日だったり、真夜中だったりしても、お客さんの為に、嫌な顔ひとつも見せず、修理に行く父の姿を見て『お父さんて偉いなあ、僕だったらできないのになあ。』と思いました。今、父は僕にいろいろな事を教えてくれます。でも、教えてくれる時は、すごくこわいけど、あの緊急呼び出しで、修理に行く父の姿を思い出すと、僕の為に厳しくしてくれるのだと思います。いつか就職したら父のように人の役に立つ仕事につきたいです。</p>	



優秀施工者国土交通大臣顕彰

平成26年10月10日

加島 弘康氏と加島工業の満仲部長

題 名	ライフラインを守る
氏 名	加 島 拓 斗 ( か し ま ・ ひ ろ と )
<p>         ぼくの父は、祖父の会社に勤務しています。会社までは、そんなに遠くありませんが、家で顔を会わせることはあまりありません。       </p> <p>         小学校の頃までは、時々遊びに連れていってもらったり、祖母の家へ行ったりもしましたが、中学生になった頃からは、ほとんど家に居ません。       </p> <p>         毎日帰宅している様ですが、朝早く、夜遅いので、顔を会わせることが無いのです。       </p> <p>         ぼくにとって、少し都合が良かったりもします。       </p> <p>         母や祖母から、お父さんの会社や仕事のことを聞かされますが、よく理解できていませんでした。       </p> <p>         9月のことでした。愛知県は記録的な大雨に襲われたのですが、下水処理場の機械室が水没したことがありました。夜8時頃会社に連絡が入り、仕事を終えて帰ろうとしていたところ、その処理場へ緊急出動することになりました。       </p> <p>         確かに、トイレの水が流れなくなったら困るだろうなと思いました。       </p> <p>         お父さんはライフラインを守る仕事をしているという意味が理解できました。お父さんは、建設業に従事していますが、設備機械工というのは、普段目にしないので、想像ができませんでした。今回のことで、お父さんは皆の為にがんばっているんだなということがはっきりと分かりました。       </p> <p>         そんなお父さんが建設マスターに成るなんて、すごいなと感心しました。       </p>	



井上 智洋氏と令夫人

題 名	よく働くお父さん
氏 名	井 上 皓 斗 ( いのうえ ・ ひろと )
<p>         ぼくのお父さんは、平日は、朝早くから夜おそくまで仕事に行き、休日に行く日があるので、この題名にしました。ぼくがお父さんに何の仕事をしているのか、と聞くと、仕事の計画を立てる、と言ったのでびっくりしました。理由は、お父さんがヘルメットを持って帰ってきているのを何回か見たことがあるからです。ヘルメットは、どこで使っているのかなぁと思いました。ぼくはヘルメットを見て初めお父さんは工事の仕事をしているのかなぁと思いました。でもお父さんに仕事の紙を見せてもらおうと発電機の機械がありました。これを見てぼくはまたびっくりしました。理由は、ぼくは発電機は風車だけだ、と思っていたからです。ぼくはお父さんがいないと計画を立てられないから、お父さんがいないといけないんだなぁと思いました。お父さんがいるから仕事が進められているんだなぁと思いました。発電機は電気を作っているのだから人の役に立つための仕事をしていることが分かりました。お父さんは人に役立っている仕事をしていたのでとてもすごいなぁと思いました。       </p> <p>         ぼくも大人になったら、お父さんみたいにみんなに役立っている仕事につきたいなぁと思いました。       </p>	